

エコアクション21

2018(平成30)年度 環境経営レポート



- 環境経営方針
- 推進体制と役割権限表
- 事業・組織の概要
- 中期環境目標(2018年度～2020年度)
- 2018年度取組計画
- 2018年度環境活動の実施状況
- 環境関連法規の遵守状況及び違反・訴訟等の有無
- 2019年度の数値目標と取組計画
- 代表者による全体の評価
- 社会貢献活動

株式会社 野尻金属

作成日：2019年4月22日

□環境経営方針

基本理念

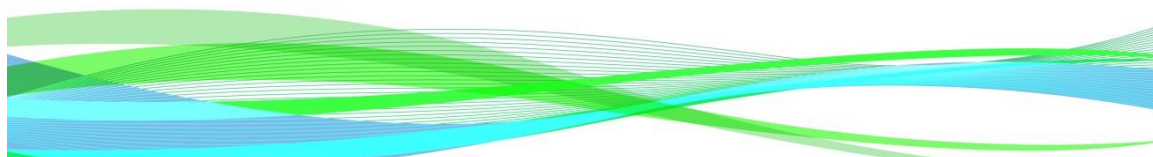
野尻金属は、資源の循環を通して、より良い未来をつくるため、
経済と環境の調和を目指す、持続可能な社会の実現に貢献する。

行動指針

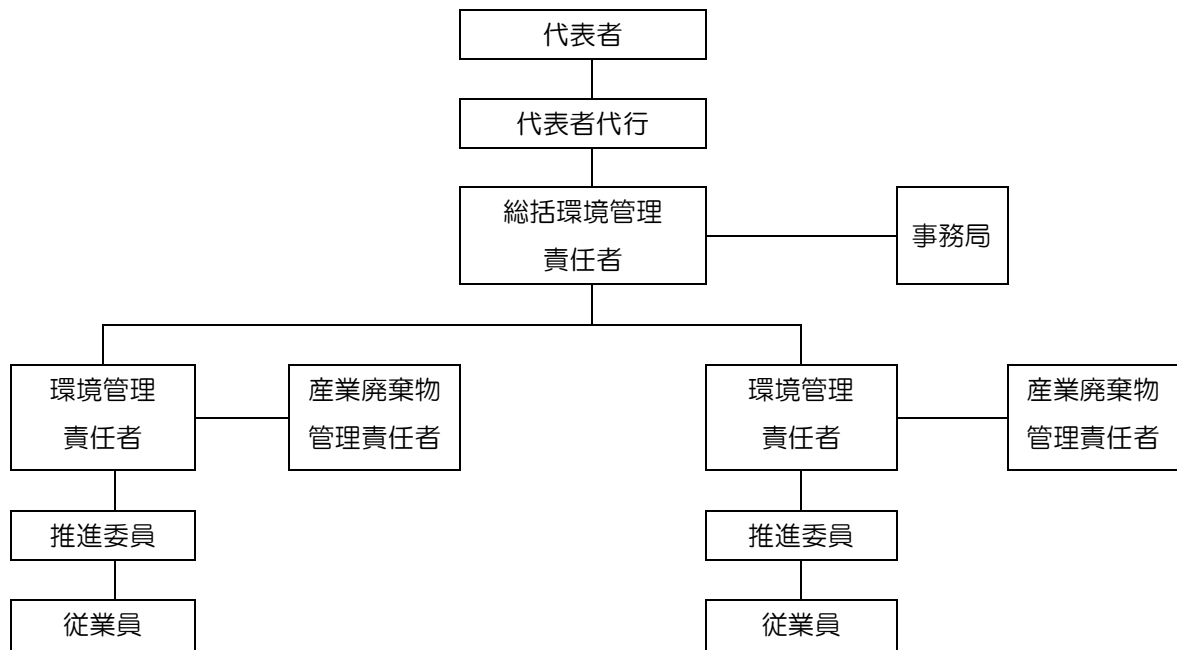
- 1 環境負荷の少ない非鉄製品の製造・販売の推進により、
お客様のリサイクル、グリーン調達に貢献する。
- 2 事業活動における無駄を削減し、生産性を高めることで、
資源・エネルギーを効率的に活用し、環境負荷の低減に取り組む。
- 3 当社に適用される環境関連法規等を遵守する。
- 4 環境目標及び計画を策定し、達成のための取り組みを実施する。
また、この活動内容を定期的に評価して、継続的な改善を図る。

2018年7月6日改定

株式会社 野尻金属
代表取締役社長 野尻 勝志



□実施体制図・役割権限表



当社のEA21活動を推進するために下記の組織を定めました(2018年5月1日改訂)。

役割	責任及び権限
代表者	① 環境方針の制定し、全従業員に周知する
	② 環境管理責任者等、必要な責任者を任命する
	③ 取組状況の評価と見直し並びに指示をする
代表者代行	① 代表者の補佐及び川崎事業所の代表者の役割を果たす
総括環境管理責任者	① 代表者に代わってEA21の構築・運用を図る
	② EA21の実施状況を代表者・代表者代行に報告する
事務局	① EA21に関する実務全般を所管
環境管理責任者	① 各事業所におけるEA21の構築・運用を図る
	② EA21の実施状況を総括環境管理責任者に報告する
産業廃棄物管理責任者	① 産業廃棄物の排出抑制、再資源化及び減量化の企画検討
	② 産業廃棄物の処理基準、保管基準の遵守、管理
	③ 処分方法の検討、処理委託先の選定、委託契約書の締結等
	④ マニフェストの交付、回収、保管、管理、行政へ報告する
推進委員	① 部門の環境目標及び取組計画の実施、活動状況の確認
	② 緊急事態への準備及び対応の訓練の実施
	③ 職場の教育・訓練の実施
全従業員	① 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚
	② 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加
	③ 担当する環境目標及び取組計画の実施、活動状況の確認

事業・組織の概要

会社名・代表者名

株式会社野尻金属
代表取締役社長 野尻 勝志

設立・資本金

1972(昭和47)年9月1日
4,400万円

所在地

本社（登記上） 〒965-0845 福島県会津若松市門田町工業団地 22 番地
本社（高田事業所） 〒969-6207 福島県大沼郡会津美里町字宮里 21 番地
川崎事業所 〒210-0854 神奈川県川崎市川崎区浅野町 6 番 4 号

事業内容

非鉄金属の精錬、加工、販売及びリサイクル

総括環境管理責任者

佐藤勇(保全課長)

担当者連絡先(環境管理責任者)

高田事業所 佐藤 勇 (保全課長) TEL 0242-55-0071
川崎事業所 嶋方 康一 TEL 044-333-1105

事業の規模(2018年度)

年商 45 億円
主要製品生産量 16,660 t

	従業員	敷地面積	床面積
本社(高田事業所)	45名	22,119 m ²	7,204 m ²
川崎事業所	12名	729 m ²	537 m ²

本社（高田事業所）



川崎事業所



*レポートの対象期間は2018(平成30)年3月1日~2019(平成31)年2月28日になります。

□中期環境目標(2018年度~2020年度)

環境目標項目	単位	2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
		事業所	基準値	目標値	基準年度比	目標値	基準年度比	目標値	基準年度比
低環境負荷製品	t	全体	13,686	13,823	101%	13,960	102%	14,097	103%
		高田	10,996	11,106		11,216		11,326	
		川崎	2,690	2,717		2,744		2,771	
二酸化炭素	t	全体	1603	1,587	99%	1,571	98%	1,555	97%
		高田	1,254	1,241		1,229		1,216	
		川崎	349	346		342		339	
上水	m3	全体	1,661	1,661	100%	1,661	100%	1,661	100%
		高田	1,203	1,203		1,203		1,203	
		川崎	458	458		458		458	
一般廃棄物	kg	全体	1,140	1,140	100%	1,140	100%	1,140	100%
		高田	140	140		140		140	
		川崎	100	100		100		100	
産業廃棄物 (最終処分)	kg	全体	18,140	18,140	100%	18,140	100%	18,140	100%
		高田	18140	18140		18140		18140	
		川崎	-	-		-		-	



□2018年度取組計画

2018年度において、以下の取り組みを進めて参りました。

管理項目	取組活動計画	
	高田事業所	川崎事業所
荷製品 低環境負	低環境負荷製品普及に取り組む 同製品の品質向上&生産量の向上に取り組む 環境負荷物質の少ないリサイクル原料の仕入増	
二酸化炭素排出量の削減	購入電力量の削減 節電意識の向上 生産性向上（形状不良製品の減） 鑄造待機時間の削減 エアコン温度管理の徹底 圧縮空気の漏れ根絶 各集塵機周波数の管理の徹底 LPG使用量の削減 軽油使用量の削減 移動距離の短縮（フォークリフト） 計画的運行 削減のための情報収集	デマンドモニターによるピーク電力削減 火力温度の調整の徹底 ファンの適時活用 計画的運行 移動距離の短縮（フォークリフト） 生産性向上
上水の管理	節水の呼びかけ 洗濯物のまとめ洗い 浴槽の水で洗濯 節水シャワーヘッド使用 6月～9月浴槽使用禁止	漏水箇所の改善 節水
物管理 一般廃棄	資源回収の徹底 減量化の取組促進 分別徹底	一般ゴミと売却品の分別 裏紙の使用によるゴミ削減
管理 産業廃棄物	耐火物施工方法の再考 パレットの返却・再利用促進 保管場所適正管理	廃棄物の分別徹底 可能な限り圧縮し減容

□2018年度環境活動の実施状況

管理項目	単位	2018年度目標		2018年度実績		
		事業所	目標値	実績値	年度比	評価
低環境負荷製品	t	全体	14,103	15,318	109%	○
		高田	11,386	12,608	111%	◎
		川崎	2,717	2,710	100%	○
二酸化炭素	t	全体	1,604	1724	109%	○
		高田	1,232	1,341	108%	○
		川崎	372	383	111%	△
上水	m ³	全体	1,661	1,517	91%	○
		高田	1,203	1,072	89%	◎
		川崎	458	445	97%	○
一般廃棄物	kg	全体	1,140	1,226	108%	○
		高田	140	226	161%	×
		川崎	1,000	1000	100%	○
産業廃棄物 (最終処分)	kg	全体	18,140	21,553	119%	△
		高田	18140	18,150	100%	○
		川崎	-	3,403	-	-

低環境負荷製品	数値評価	環境負荷項目
110%以上	◎	90%未満
90%以上 110%未満	○	90%以上 110%未満
70%以上 90%未満	△	110%以上 130%未満
70%未満	×	130%以上

取組の評価

管理項目	高田事業所	川崎事業所
荷製品 低環境負	低環境負荷製品普の品質向上 & 生産量の向上に取り組み、目標達成することができた。	
二酸化炭素	節電意識の向上が見られた 集塵機の管理だけでは効果が大きくでなかった 空運転即時停止により、大きな効果があった。	計画的運行が機能した。 フォークリフト走行距離は削減達成出来なかった。 稼働時間が増えてしまった（企画外品発生）。
上水	洗濯物のまとめ洗いが徹底できた。	節水の取組の継続が必要
棄物 一般廃	責任者の分別に対する認識の欠如があった。	種別毎の適正管理が定着した。 各人の分別に対する心構えが定着できた。
物 産業廃棄	目標達成することができた。 パレットの返却・再利用について、廃パレットが若干多くなってしまった。	今年度から取り扱いが始まったので、今年度のデータを精査後、新しい中間目標を設置したい。

□ 環境関連法規の遵守状況及び違反・訴訟等の有無

遵守状況については、環境管理責任者、副環境管理責任者及びにおいて統括しており、環境関連法規の遵守に努めています。2018年度は環境に関わる法規制等の違反はありませんでした。今後も安全対策を徹底し、環境関連法規の自主的な確認を行い、環境保全に取り組みます。

□2019年度の数値目標と取組計画

数値目標

環境目標項目	単位	2018年度(基準年度)		2019年度		2020年度		2021年度	
		事業所	基準値	目標値	基準値比	目標値	基準値比	目標値	基準値比
低環境負荷製品	t	全体	15,318	15,471	101%	15,624	102%	15,778	103%
		高田	12,608	12,734		12,860		12,986	
		川崎	2,710	2,737		2,764		2,791	
二酸化炭素	t	全体	1,724	1,707	99%	1,690	98%	1,672	97%
		高田	1,341	1,328		1,314		1,301	
		川崎	383	379		375		372	
上水	m ³	全体	1,517	1,517	100%	1,517	100%	1,517	100%
		高田	1,072	1,072		1,072		1,072	
		川崎	445	445		445		445	
一般廃棄物	kg	全体	1,226	1,226	100%	1,226	100%	1,226	100%
		高田	226	226		226		226	
		川崎	1,000	1,000		1,000		1,000	
産業廃棄物 (最終処分)	kg	全体	21,553	21,553	100%	21,553	100%	21,553	100%
		高田	18,150	18,150		18,150		18,150	
		川崎	3,403	3,403		3,403		3,403	

取組計画

管理項目	高田事業所	川崎事業所
低環境負荷製品	月毎に若干のバラツキがあるのでより安定的に生産できるようにする。	
二酸化炭素	作業車両の移動距離短縮の継続 アイドリングストップ徹底の継続	作業車両の移動距離短縮の再考 生産性向上の継続
上水	節水の呼びかけの継続 まとめ洗いの継続	節水の呼びかけの再考
一般廃棄物	資源回収の徹底の再考 減量化の取組継続 分別徹底の継続	一般ゴミと売却品の分別の継続 裏紙の使用によるゴミ削減の継続

産業 廃棄物	耐火物施工方法の再考 パレットの返却・再利用促進の継続 保管場所適正管理の継続	分別の徹底 処理量減のための方法を検討 社員教育の徹底
-------------------	-----------------------------------------------	-----------------------------------

□代表者による全体の評価

ガイドライン 2017 版への移行に合わせて、中期環境経営目標の設定方法も変更した。

中でも「環境負荷の少ない非鉄製品の製造・販売を推進」の項目を追加したことで、より社会での CO₂排出量の削減に貢献している企業であることをアピールできるようになった。

今年度は、新たに高田で 50 kgボンベの使用量の把握や、川崎事業所で産業廃棄物の管理が始まったが、今後適正に管理されるように指示を徹底したい。

全体としてはまだまだであるが、環境に対する意識が高まった職員や、オープンな話合いの場を作ることができた部署など、日々の創意工夫が目に見えるようになってきた。

社会貢献事業の一環として新たに、カーボン・オフセットの導入も進め、今後とも地域とともに発展していく企業を目指していきたい。

2019年3月16日

代表取締役社長

野尻 勝志

□ 社会貢献活動

特定規模電気事業者（新電力）からの電力購入

当社の二酸化炭素係数は、過去の実績から継続して、高田事業所は東北電力、川崎事業所は東京電力エナジーパートナーの調整後排出係数を基準に算出していますが、2017年より、両事業所ともにリコージャパン（新電力）から電気の購入を始めました。その調整後排出係数は上記2社よりも少ないものとなっており、2018年度については、新電力会社からの購入により、約143tの二酸化炭素排出量の削減できた計算になります。



カーボン・オフセット

新たな取組として、2018年度当社が排出したCO₂の1%をオフセットしました。

今年度、

CO₂ 9トン 新潟県津南町

CO₂ 9トン 北海道下川町

また、同上自治体の活動に賛同し、環境維持のために支援しています。



グリーンサイトライセンスの登録

グリーンサイトライセンスとは、環境貢献活動と、サイトでの環境貢献のPRが結びついたサービスで、企業や消費者が環境保護を身近に感じる機会を提供しています。

当社は2013年4月25日に登録し、継続してモンゴルでの植林を支援しています。

また、当社のホームページ上に証明書を設置しPRに利用しています。



工場周辺の環境美化

日 時：2018年6/29,10/30

場 所：当社高田事業所周辺

参加人数 15人



AED 自動体外式除細動器の導入

AED
Automated External Defibrillator



自動体外式除細動器

2014年度よりAEDを設置しました。
緊急時、全社員が救命措置を取ることができ、不慮の事故に対し
迅速に対応できるように取り組んでいます。

